

# 名家連ニュース

令和2年5月8日(金)  
発行：特定非営利活動法人  
名古屋市精神障害者家族会連合会  
会長 堀田 明  
TEL/FAX(052)846-5576 NO.714号

## 新型コロナ 利用自粛による課題が鮮明

### ❖ 事業所のマスク・アルコール消毒液不足について

令和2年4月24日の名古屋市会臨時議会で可決・承認された「障害福祉サービス事業所等へ消毒用エタノール等を配布、購入費補助(1,780万円)」を活用しましょう。



### ❖ 事業所の報酬減少は深刻!! 厚生労働省の事務連絡の周知・徹底を!!

「利用者の自粛による欠席でも、事業所が電話などで相談を受ければ報酬として算定する」よう厚生労働省は自治体に求めています。尚、現場からは基準や書類の簡素化を求める声が寄せられています。

### ❖ 福祉事業所・デイケアを守るための制度や予算措置を求めます

イベント自粛で製品販売が減少し工賃への影響が深刻という声が寄せられています。今後の状況によっては、事業所休所の事態も想定されます。現在でも、デイケア等では止むを得ず利用制限をしている医療機関もあります。家族会の立場からも、国・地方自治体において、障害者に対する切れ目のない支援を下支えする予算措置を講じるよう強く求めていきたいと思えます。



### ❖ 生活リズムが崩れ精神的不安定・家庭内の負の連鎖が拡大

「ストレスに対す脆弱性」—精神障害の特性と言われ、通常とは異なる変化に過敏に反応したり、強い不安感を抱いたり、周りの目を必要以上に警戒してしまう傾向があります。コロナ情報に怯えたり、利用制限などで事業所やデイケアに通所できなくなった当事者と家族の声を紹介します。

当事者・家にいるとネガティブ思考になる・親があれこれと口を出すので気持ちが 減入ってしまう。

- ・コロナ太りにならないよう1日2回散歩している。・この先どうなるのか心配、不安。
- ・バスや地下鉄での乗り継ぎがあり感染のリスクを抱えて通所するのは不安。
- ・花粉症やアレルギー体質があり、くしゃみや咳が出る。周りから嫌な目で見られるのが怖い。

家 族・生活リズムが狂ったため、食事時間も服薬時間も不規則になっている。

- ・毎日家でゴロゴロしている。通う場所があるという有難さが身に染みて分かる。
- ・気持ちのやり場がないためか、物にあたったりして精神的に不安定になっている。
- ・部屋に籠っている。ああ言えばこう言い、親子共々ストレスが溜まってきている。
- ・長い間、引籠り、やっと居場所に行けるようになったのに…コロナが憎い。
- ・夫も息子も家で何もしないで3度の飯を要求。父・息子の関係が悪く、別々の時間帯で用意。コロナに感染する前に私が倒れそう…お互いの言葉も荒くなり、皆のところが荒んでいきそう。毎日、お互いにストレスを抱えながら過ごすのは本当にしんどいです。いつまで続くのか…



- ・家族会の例会などストレスを発散する場所がなくなり、電話で仲間と愚痴をこぼし合っていますが、そういうことができない娘が何時も気がかりです。
- ・やることなく、気分が落ち着かないためかタバコを吸う量が増えているのが心配です。

(聞き取り者：事務局/堀田)

次回は精神分野の障害福祉事業所取材した情報を掲載いたします